

## 血液検査で脳梗塞リスク評価

この検査は脳梗塞の血液中で高くなることがわかっている、「アクロレイン（細胞を傷つける）」と炎症マーカーの2種類を測定し脳梗塞のリスクを評価します。

- 脳梗塞リスク値：年齢とアクロレイン抱合体、インターロイキン-6、CRPを組み合わせ総合的に評価した数値。
- 自覚症状のない、小さな脳梗塞をかくれ脳梗塞（無症候性脳梗塞）といい、この無症候性脳梗塞を高率に発見する検査として有用とされています。
- このかくれ脳梗塞かたは脳卒中、認知症になりやすいといわれています。
- 脳への健康を気にしているかた、高血圧や脂質異常症、糖尿病など生活習慣病のかた、動脈硬化を指摘されているかたなど、脳ドック前のスクリーニング検査としておすすめします。

\*本検査は脳梗塞リスクに関する情報提供をするものであり、脳梗塞を診断する検査ではありません。